

2019.1.1 No.25



えんしゅうびょういん 情報紙



あけまして
おめでとうございます

超音波検査の色々① 【担当:臨床検査科】

超音波検査とは・・・

エコー検査とも呼ばれています。

超音波とは、人間の耳には音として感じられないほど周波数が高い音波のことです。この超音波を体に当てて、体の中を画像として映し、様子を観察します。おなか全体、心臓、乳房、甲状腺、首や足の血管など、多くの部位が検査の対象になります。血液の流れる速さや方向をみることも可能です。



今回は Q&A で
いくつかの質問にお答えします。



質問① 超音波を当てることで、体に害はありますか？

回答①

検査で使用される超音波は、体に対して害が無いと言われており、安全の為、どなたでも安心してお受けいただける検査です。

妊婦検診で使用され、胎児の様子を観察するのも超音波検査です。

質問② 検査はどのように行いますか？

回答②

ベッドに休んで検査を行う事がほとんどです。

検査する部位によって仰向けや横向き、座って検査を行いません。



質問③ 検査時に痛みはありますか？

回答③

基本的に痛みはありませんが、多少圧迫する場合がありますので、痛みのある場合は検査者にお伝えください。

質問④ 検査時に使用するゼリーは何のためにつけるのですか？

回答④

ゼリーをつけることで超音波が体内に良くとどき、画像が良く見えるようになります。

ゼリーの成分は無害ですのでご安心下さい。

質問⑤ 検査前に何か制限はありますか？

回答⑤

<飲食の制限について>

検査部位により飲食制限がございます。

食事をすることで胆のうが収縮、胃の内容物の影響で体内が見えにくくなります。

腹部(おなか)の検査の方は、午前の検査の方は朝食を、午後の検査の方は昼食をお控え下さい。(お茶・お水は少量であればお飲みいただけます)

その他の部位の検査の方は、飲食制限はございません。



<排尿の制限について>

検査部位により排尿の制限がございます。

検査科で行なう腹部(おなか)検査では、膀胱や前立腺・子宮をみる場合、膀胱に尿が溜まっているほうが見えやすいです。検査約2時間前より排尿をお控え下さい。

ただし各科で行なう超音波検査は、科の指示に従って下さい。



次回は各超音波検査でわかることをご紹介します。

【編集:ふれあい編集部】